

真のふるさと創造室 室方針

真のふるさと創造室 室長 沢畑樹彦

今、私たちは戦後最大の国難というべき事態に直面しています。一人ひとりが目の前の現実から目を背ける事なく現実を受け止め、手を携え歩調を合わせていく事が真の地方自治・真の復興へと繋がるのです。我々の運動により、このまちに暮らす市民がまちに関心を寄せ、自発的に行動する環境を整備し、コミュニティー全体の意識へと昇華させる事で、他人事にしない自らの地域は自らの手で創る市民主体の自立した強い地域を創造します。

まずは、より多くの同志と共に更なる地域発展を目指しまちづくりの喜びと重要性を伝えるため、水戸が誇る財産を最大限に活用し、広く発信すると共に、他LOMの事業も見ることで我々の運動展開に繋がります。そして、今も尚続く復興作業において日本JCと連携を図り真の復興を確立するために、被災からの教訓を活かし活動を続ける行政や諸団体と連携・協働していくことで、有事の際にはまちの安全に寄与しうる新たな中心的存在となります。さらに、地域を想い地域問題に積極的に取り組む意識を向上させるために、市民の意見を吸い上げ自由闊達に討論が出来る機会を提供し、同時に政治家の動向を監視するシステムや、数値化を図り分かり易く提示できるシステムを構築するために、政治家と議論し対話を重ねながら相互の信頼性を高めていきます。そのことで市民に主権者としての意識と政治に対する責任感を醸成します。また、地域の宝を活かしたまちの活性化を進め、コミュニティーをより強い絆で結びつけた市民主体のまちづくりを目指しながら質の高い運動を展開することで、地域における存在価値、認知度が高まり会員拡大へ繋がります。

地域に関心を持った責任ある自己を確立した強い市民が増え、それぞれが自発的に行動しコミュニティーが一体となることで、コミュニティー全体の意識へと昇華していき、この繋がりが伝播し、ソーシャルキャピタルの醸成による市民主体の強い地域を創造します。